

# 高関 健

## Ken Takaseki (Conductor)

東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団 常任指揮者  
Principal Conductor of the Tokyo City Philharmonic Orchestra

京都市交響楽団 常任首席客演指揮者  
Principal Guest Conductor of the Kyoto Symphony Orchestra

仙台フィルハーモニー管弦楽団 レジデント・コンダクター  
Resident Conductor of the Sendai Philharmonic Orchestra

静岡交響楽団 ミュージック・アドバイザー  
Music Adviser of the Shizuoka Symphony Orchestra

京都市交響楽団常任首席客演指揮者(2014年4月～)、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団常任指揮者(2015年4月～)、仙台フィルハーモニー管弦楽団レジデント・コンダクター(2018年4月～)、静岡交響楽団ミュージック・アドバイザー(2018年4月～)。

広島交響楽団音楽監督・常任指揮者(1986-1990年)、新日本フィル正指揮者(1994-2001年)、大阪センチュリー交響楽団常任指揮者(1997-2003年)、群馬交響楽団音楽監督(1993-2008年/現在・名誉指揮者)、札幌交響楽団正指揮者(2003-2012年)などを歴任。

桐朋学園大学在学中の1977年にカラヤン指揮者コンクールジャパンで優勝。翌年同大学卒業後、ベルリン・フィル・オーケストラ・アカデミーに留学、1985年までカラヤンのアシスタントを務めた。

1981年タングルウッド音楽祭でバーンスタイン、小澤征爾らに指導を受け、同年ベルゲン交響楽団を指揮してヨーロッパ・デビュー。

1983年ニコライ・マルコ記念国際指揮者コンクール第2位。1984年ハンス・スワロフスキー国際指揮者コンクール優勝を経て、1985年1月に日本フィル定期演奏会で日本デビュー。国内オーケストラはもとより、ウィーン交響楽団、オスロ・フィル、デンマーク国立放送交響楽団、ベルリン・ドイツ交響楽団、クラングフォーラム・ウィーン、プラハ放送交響楽団、ケルン放送交響楽団などに客演。2017年4月には2013年2月に続きサンクトペテルブルグ・フィル定期演奏会を指揮、ロシアの名門オーケストラから豊潤な響を引き出し、聴衆や楽員から再び大絶賛を受けた。

オペラでは新国立劇場「夕鶴」、大阪カレッジオペラ「ピーター・グライムズ」などで好評を博し、2009年のピエール・ブーレーズ京都賞受賞記念ワークショップではブーレーズから、ミッシェル・マイスキー、イツァーク・パールマンをはじめとする世界的ソリスト、特にマルタ・アルゲリッチからはシチェドリンの作品の日本初演等3回の共演を通じてその演奏を絶賛されるなど、絶大な信頼を得ている。

第4回渡邊暁雄音楽基金音楽賞(1996年度)、第10回齋藤秀雄メモリアル基金賞(2011年)、第50回サントリー音楽賞(2018年度)を受賞。

東京藝術大学音楽学部指揮科教授 兼 藝大フィルハーモニア管弦楽団首席指揮者。

2019年3月には、ウラジオストクとサンクトペテルブルグにおいて、『ロシアにおける日本年』の一環として團伊玖磨のオペラ「夕鶴」を指揮、日本とロシアの文化交流に大きな役割を果たした。

[twitter.com/KenTakaseki](https://twitter.com/KenTakaseki)

(2019年7月現在 1,000字)

株式会社ジャパン・アーツ

<http://www.japanarts.co.jp>

〒150-8905 東京都渋谷区渋谷 2-1-6

TEL: 03-3499-8100 / FAX: 03-3499-8102

JAPAN ARTS CORPORATION

<http://www.japanarts.co.jp>

2-1-6, Shibuya Shibuya-ku,

Tokyo JAPAN 150-8905

TEL: 81-3-3499-8091 FAX: 81-3-3499-8092

# 高関 健

## Ken Takaseki (Conductor)

東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団 常任指揮者  
Principal Conductor of the Tokyo City Philharmonic Orchestra

京都市交響楽団 常任首席客演指揮者  
Principal Guest Conductor of the Kyoto Symphony Orchestra

仙台フィルハーモニー管弦楽団 レジデント・コンダクター  
Resident Conductor of the Sendai Philharmonic Orchestra

静岡交響楽団 ミュージック・アドバイザー  
Music Adviser of the Shizuoka Symphony Orchestra

京都市交響楽団常任首席客演指揮者(2014年4月～)、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団常任指揮者(2015年4月～)、仙台フィルハーモニー管弦楽団レジデント・コンダクター(2018年4月～)、静岡交響楽団ミュージック・アドバイザー(2018年4月～)。

広島交響楽団音楽監督・常任指揮者、新日本フィル正指揮者、大阪センチュリー交響楽団常任指揮者、群馬交響楽団音楽監督(現在・名誉指揮者)、札幌交響楽団正指揮者などを歴任。

桐朋学園在学中の1977年カラヤン指揮者コンクールジャパンで優勝。ベルリンでカラヤンのアシスタントを務め、タングルウッド音楽祭でもバーンスタイン、小澤征爾らに指導を受けた。

日本のオーケストラはもとより、ベルゲン響、ウィーン響、オスロ・フィル、ベルリン・ドイツ響、クララ・シューマン・ウィーン、ケルン放送響などに客演。2017年4月には2013年に続きサンクトペテルブルグ・フィル定期演奏会を指揮、ロシアの名門オーケストラから豊潤な響を引き出し、聴衆や楽員から再び大絶賛を受けた。

オペラでは新国立劇場公演「夕鶴」、大阪カレッジオペラ「ピーター・グライムズ」などで好評を博し、ブルーローズ京都賞受賞記念ワークショップではブルーローズから、ミッシェル・マイスキー、イツァーク・パールマンをはじめとする世界的ソリスト、特にマルタ・アルゲリッチからはシチェドリン作品日本初演等3回の共演を通じてその演奏を絶賛されるなど絶大な信頼を得ている。

第4回渡邊暁雄音楽基金音楽賞(1996年度)、第10回齋藤秀雄メモリアル基金賞(2011年)、第50回サントリー音楽賞(2018年度)を受賞。

東京藝術大学音楽学部指揮科教授 兼 藝大フィルハーモニア管弦楽団首席指揮者。

2019年3月には、ウラジオストクとサンクトペテルブルグにおいて、『ロシアにおける日本年』の一環として團伊玖磨のオペラ「夕鶴」を指揮、日本とロシアの文化交流に大きな役割を果たした。

[twitter.com/KenTakaseki](https://twitter.com/KenTakaseki)

(2019年7月現在 800字)

\*プロフィールの一部を使用する場合、日数が経過している場合は、ジャパン・アーツの校正チェックをお受け頂きますようお願い申し上げます。

株式会社ジャパン・アーツ

<http://www.japanarts.co.jp>

〒150-8905 東京都渋谷区渋谷 2-1-6

TEL: 03-3499-8100 / FAX: 03-3499-8102

JAPAN ARTS CORPORATION

<http://www.japanarts.co.jp>

2-1-6, Shibuya Shibuya-ku,

Tokyo JAPAN 150-8905

TEL: 81-3-3499-8091 FAX: 81-3-3499-8092

# 高関 健

## Ken Takaseki (Conductor)

東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団 常任指揮者  
Principal Conductor of the Tokyo City Philharmonic Orchestra

京都市交響楽団 常任首席客演指揮者  
Principal Guest Conductor of the Kyoto Symphony Orchestra

仙台フィルハーモニー管弦楽団 レジデント・コンダクター  
Resident Conductor of the Sendai Philharmonic Orchestra

静岡交響楽団 ミュージック・アドバイザー  
Music Adviser of the Shizuoka Symphony Orchestra

桐朋学園在学中の1977年カラヤン指揮者コンクールジャパンで優勝。ベルリンでカラヤン氏のアシスタントを務め、タングルウッド音楽祭でもバーンスタイン、小澤征爾らに指導を受けた。

国内はもちろん海外への客演も多く、2013年2月と2017年4月にはサンクトペテルブルグ・フィル定期演奏会を指揮、聴衆や楽員から大絶賛を受けた。オペラでは新国立劇場公演「夕鶴」、大阪カレッジオペラ「ピーター・グライムズ」などで好評を博し、P. ブレーズ、M. マイスキー、I. パールマンをはじめとする世界的ソリスト、特にM. アルゲリッチからは3回の共演を通じてその演奏を絶賛されるなど、絶大な信頼を得ている。

これまでに広島響音楽監督・常任指揮者、新日本フィル正指揮者、大阪センチュリー響常任指揮者、群馬響音楽監督(現在・名誉指揮者)、札幌響正指揮者などを歴任し、現在は京都市響常任首席客演指揮者、東京シティ・フィル常任指揮者、仙台フィルレジデント・コンダクター、静岡響ミュージック・アドバイザー、東京藝術大学音楽学部指揮科教授 兼 藝大フィルハーモニア管弦楽団首席指揮者の任にある。

第4回渡邊暁雄音楽基金音楽賞(1996年度)、第10回齋藤秀雄メモリアル基金賞(2011年)、第50回サントリー音楽賞(2018年度)を受賞。

2019年3月には、ウラジオストクとサンクトペテルブルグにおいて、『ロシアにおける日本年』の一環として團伊玖磨のオペラ「夕鶴」を指揮、日本とロシアの文化交流に大きな役割を果たした。

[twitter.com/KenTakaseki](https://twitter.com/KenTakaseki)

(2019年7月現在 600字)

\*プロフィールの一部を使用する場合、日数が経過している場合は、ジャパン・アーツの校正チェックをお受け頂きますようお願い申し上げます。

# 高関 健

## Ken Takaseki (Conductor)

東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団 常任指揮者  
Principal Conductor of the Tokyo City Philharmonic Orchestra

京都市交響楽団 常任首席客演指揮者  
Principal Guest Conductor of the Kyoto Symphony Orchestra

仙台フィルハーモニー管弦楽団 レジデント・コンダクター  
Resident Conductor of the Sendai Philharmonic Orchestra

静岡交響楽団 ミュージック・アドバイザー  
Music Adviser of the Shizuoka Symphony Orchestra

国内主要オーケストラで重要なポジションを歴任。サンクトペテルブルグ・フィル定期演奏会で聴衆や楽員から大絶賛を受けるなど、海外への客演も多い。新国立劇場「夕鶴」、大阪カレッジオペラ「ピーター・グライムズ」などオペラでも好評を博し、マイスキー、パールマン、ブーレーズ等の世界的ソリストや作曲家、特にアルゲリッチからは3回の共演を通じてその演奏を絶賛されるなど絶大な信頼を得ている。

現在、東京シティ・フィル常任指揮者、京都市響常任首席客演指揮者、仙台フィルレジデント・コンダクター、静岡響ミュージック・アドバイザー、東京藝大指揮科教授 兼 藝大フィル首席指揮者。第4回渡邊曉雄音楽基金音楽賞、第10回齋藤秀雄メモリアル基金賞、第50回サントリー音楽賞(2018年度)を受賞。

2019年3月には、ウラジオストクとサンクトペテルブルグで『ロシアにおける日本年』の一環として團伊玖磨のオペラ「夕鶴」を指揮、両国の文化交流に大きな役割を果たした。

[twitter.com/KenTakaseki](https://twitter.com/KenTakaseki)

(2019年7月現在 400字)

\*プロフィールの一部を使用する場合、日数が経過している場合は、ジャパン・アーツの校正チェックをお受け頂きますようお願い申し上げます。

# Ken Takaseki (Conductor)

Principal Conductor of the Tokyo City Philharmonic Orchestra  
Principal Guest Conductor of the Kyoto Symphony Orchestra  
Resident Conductor of the Sendai Philharmonic Orchestra  
Music Adviser of the Shizuoka Symphony Orchestra

Ken Takaseki was born in Tokyo. He started to study piano and violin early in his childhood. He won the Karajan Competition in Japan in 1977 while he was still a student at the Toho Gakuen School of School of Music. After graduating from the school the following year, he left Japan to study at the Berlin Philharmonic Orchestra Academy (Karajan Foundation) and worked as an assistant to Herbert von Karajan till 1985. During the summer of 1981, he studied under Leonard Bernstein and Seiji Ozawa at Tanglewood Festival. In the same year, he made his debut in Europe with the Bergen Symphony Orchestra in Norway.

In 1983 he won the 2nd prize at the Nicolai Malco Competition for Young Conductors, and in 1984 he drew attention when he won the Hans Swarowsky Competition. In January 1985, he made his debut in Japan with the Japan Philharmonic Orchestra at its subscription concert. In 1991 he conducted the NHK Symphony Orchestra at its subscription concert and received outstanding critical acclaim. In 1994, he toured around Europe with the Gunma Symphony Orchestra with great success performing in various places and on such occasions as Prague Spring International Music Festival and Festival of Vienna.

Besides many orchestras in Japan, he has performed with Vienna Symphony Orchestra, Oslo Philharmonic Orchestra, Bergen Symphony Orchestra, Denmark National Radio Symphony Orchestra, Deutsche Symphonie Orchester Berlin, Klangforum Wien, and WDR Symphonie Orchester Koeln among others. In 1994, he toured around Europe with the Gunma Symphony Orchestra with great success. In February 2013 and April 2017, he conducted a subscription concerts of the St. Petersburg Philharmonic Orchestra, bringing out a full, rich sound from this distinguished Russian orchestra and receiving high praise from the audience and orchestra members.

His opera conducting career includes Mozart's DIE ZAUBERFLÖTE (1990, 2007), LE NOZZE DI FIGARO (1991) and Monteverdi/Henze's IL RITOMO d'ULISSE IN PATRIA (2009) with Tokyo Nikikai, Verdi's FALSTAFF at a subscription concert of Gunma Symphony Orchestra (2003), Britten's CURLEW RIVER at Sumida Triphony Hall (1997) and PETER GRIMES with The College Opera House Osaka (2013), Dan's YUZURU at New National Theatre Tokyo (2011) and Mozart's Cosí fan tutte at New National Theatre Tokyo Opera Studio (2017).

Takaseki has earned the profound trust of artists. At the Pierre Boulez Kyoto Prize Workshop in 2009, for example, he received high praise from Pierre Boulez and such world-renowned soloists as Mischa Maisky, Itzhak Perlman, and in particular Martha Argerich, for his performances over the course of three concerts including the Japan premiere of a work by Rondion Schedrin.

He was Music Director and Principal Conductor of the Hiroshima Symphony Orchestra (1986-1990); Conductor of the New Japan Philharmonic (1994-2000); Principal Conductor of the Century Orchestra Osaka (1997-2003); Music Director of the Gunma Symphony Orchestra (1993-2008); Resident Conductor of the Sapporo Symphony Orchestra (2003-2012); and currently he is a Principal Conductor of the Tokyo City Philharmonic Orchestra, Principal Guest Conductor of the Kyoto Symphony Orchestra, Resident Conductor of the Sendai Philharmonic Orchestra, Music Adviser of the Shizuoka Symphony Orchestra, Professor for conducting department, faculty of music of Tokyo University of the Arts and Principal Conductor of the Geidai Philharmonia Orchestra, Tokyo.

He won Akeo Watanabe Foundation Music Award in 1996, Hideo Saito Memorial Fund Award in 2011 and Suntory Music Award in 2018.

In March 2019, he conducted Dan Ikuma's opera "Yuzuru" at Vladivostok and St. Petersburg, as part of the "Japan Year in Russia".

[twitter.com/KenTakaseki](https://twitter.com/KenTakaseki)

July 9, 2019. Please contact Japan Arts if you wish to edit this biography.

株式会社ジャパン・アーツ

<http://www.japanarts.co.jp>

〒150-8905 東京都渋谷区渋谷 2-1-6

TEL: 03-3499-8100 / FAX: 03-3499-8102

**JAPAN ARTS CORPORATION**

<http://www.japanarts.co.jp>

2-1-6, Shibuya Shibuya-ku,

Tokyo JAPAN 150-8905

TEL: 81-3-3499-8091 FAX: 81-3-3499-8092